

CADPACCREATOR 2D Ver.26.0

新機能・追加機能 概要

■汎用機能

1. 高解像度モニター対応.....	2
2. ツールビュー / バインダー.....	3
3. バインダー.....	3
4. ニュートラルモード.....	4
5. DXF・DWG 入出力 寸法.....	4
6. DXF・DWG 入出力 図面のプロパティ.....	5
7. DXF・DWG 入力 ラスターイメージ.....	5
8. DXF・DWG 入力 用紙、縮尺設定.....	6
9. DXF・DWG 出力 出図範囲指定.....	6
10. DXF・DWG 出力 ビッグ代替フォント.....	7
11. DXF・DWG 出力 寸法文字.....	7
12. 表作成.....	7
13. 丸面.....	8
14. パターンハッチング、パターン登録、シンボル配置、シンボル保存.....	8
15. バルーン.....	9
16. 切取移動、切取消去.....	9
17. レイヤー名称.....	10
18. 部品一覧.....	10
19. 寸法検査表作成（お試しコマンド）.....	11

■機械オプション

20. 穴座標、タップ座標、深ざぐり座標、皿ざぐり座標.....	12
----------------------------------	----

■SOLIDWORKS インターフェース

21. 対応バージョン.....	12
22. オブジェクトコマンド 非動作.....	12
23. 図面配置.....	12
24. 図面配置、断面図配置.....	13
25. 投影図編集.....	13
26. 投影図情報削除.....	13
27. SW スケッチへ.....	13

■その他のオプション

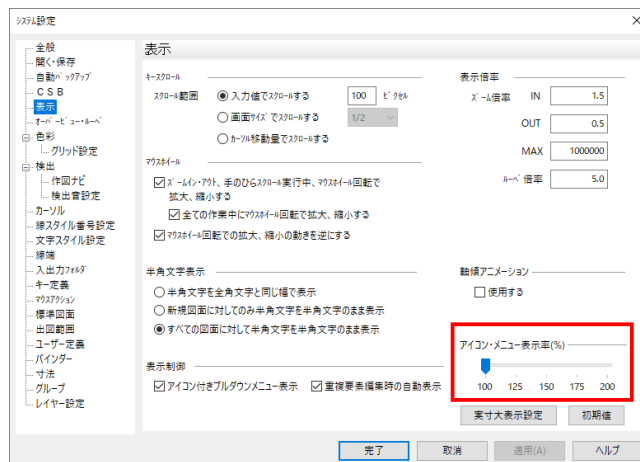
28. JIS 機械パーツ.....	14
29. JIS 機械パーツユーザーデータコピーツール.....	14
30. 配筋オプション 加工図.....	14

Ver.26.0 新機能

CADPAC-CREATOR Ver.26.0 で追加・拡張された機能の概要をまとめます。
機能の詳細は、オンラインヘルプにてご確認ください。(Ver.25.0 からの差分です)

汎用機能

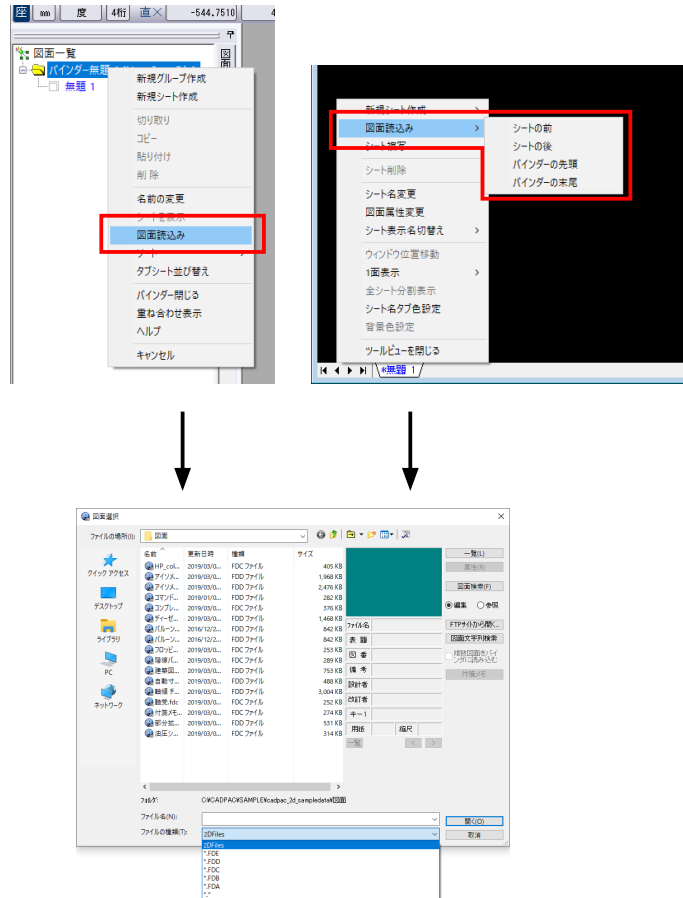
1. 高解像度モニター対応 アイコン・メニューの表示率を、従来の2段階（標準サイズ [100%]/ 拡大サイズ [200%]）から、5段階 [100%/125%/150%/175%/200%] に拡張しました。
- 【対応項目】
- ・ ツールビュー
 - ・ シートタブ
 - ・ アイコンメニュー
 - ・ プルダウンメニュー
 - ・ 右パネル
 - ・ CSB
 - ・ メッセージバー
 - ・ 各種ガイドチップ（ダイナミックハイライト、ビジュアルマウス、マウスグリッド、変形 / 移動量、機械オプション / 属性表示など）
- [補助 / システム設定 / 表示]



2. ツールビュー /
バインダー

右クリックメニュー [図面読み込み] から、FDD / FDE 形式のファイルを読み込めるようになりました。

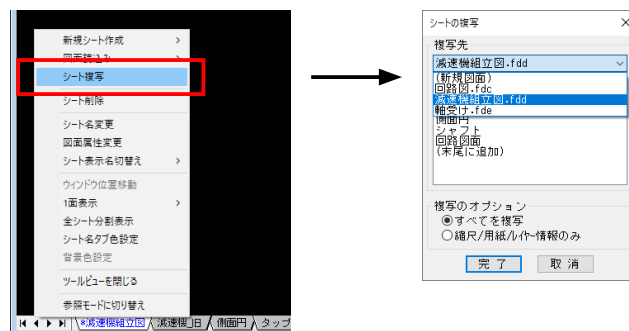
[基本操作 1/ ツールビュー / ツールビューの概要]



3. バインダー

右クリックメニュー [シート複写] の複写先に、現在開いている他の図面ファイルを指定できるようになりました。

[基本操作 1/ バインダーについて]

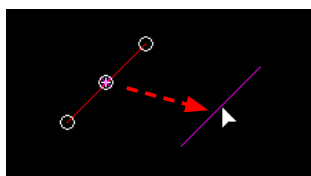
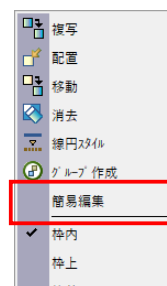


4. ニュートラルモード

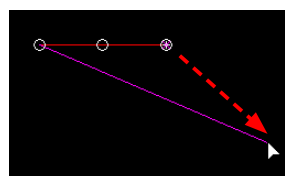
「簡易編集」が追加され、要素の簡易変形や、移動、複製が出来るようになりました。

[基本操作 2/ ニュートラルモードの編集コマンド起動]

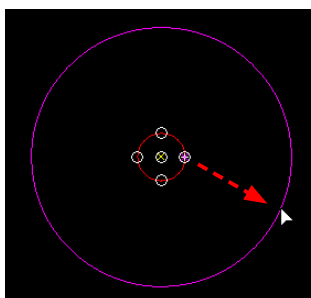
右クリックメニュー、もしくは
[F2] キーで起動



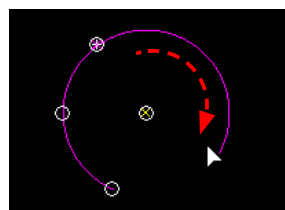
移動 / 複製
(中点・中心点指定時)



端点移動 [線分]
(端点指定時)



径変更 [円・楕円]
(4分点指定時)



弧長変更 [円弧・楕円弧]
(端点指定時)

5. DXF・DWG 入出力
寸法

平行寸法の寸法線下側にある寸法文字が、変換後に上側になってしまう現象を改善しました。

[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / DXF・DWG 入力]

[ファイル / 外部変換 / 外部出力 / DXF・DWG 出力]

6. DXF・DWG 入出力 図面のプロパティ

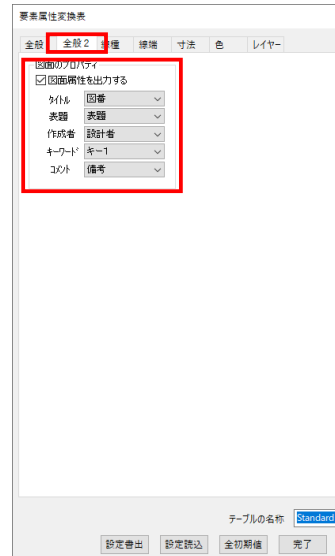
DXF/DWG の図面のプロパティと、CADPAC の図面属性を相互に変換できるようになりました。

[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / DXF・DWG 入力]

[ファイル / 外部変換 / 外部出力 / DXF・DWG 出力]



DXF・DWG 入力



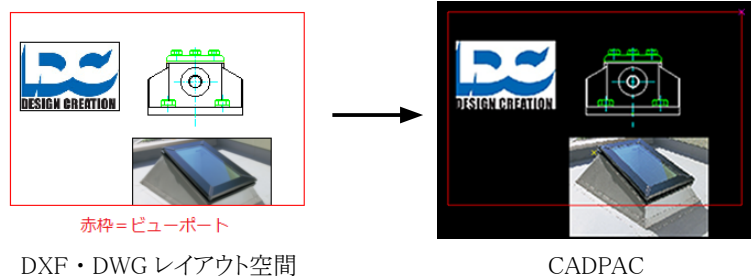
DXF・DWG 出力

7. DXF・DWG 入力 ラスタライメージ

レイアウト空間のラスタライメージを、従来はビューポートに完全に入っている場合のみ変換対象でしたが、ビューポート内に一部分でも入っていれば変換されるようになりました。

ビューポート枠での切り取りはせず、ラスタライメージを取り込みます。

[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / DXF・DWG 入力]

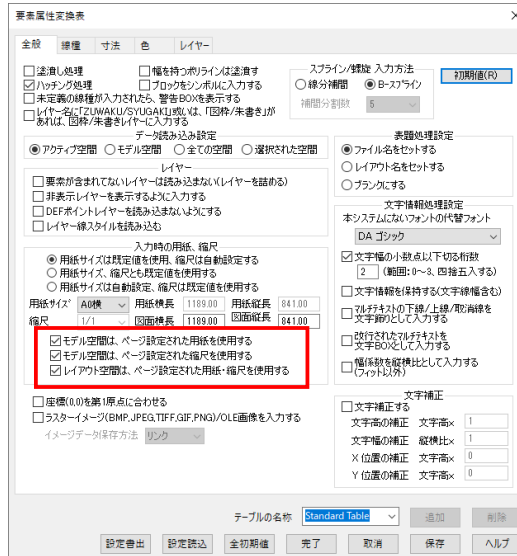


DXF・DWG レイアウト空間

CADPAC

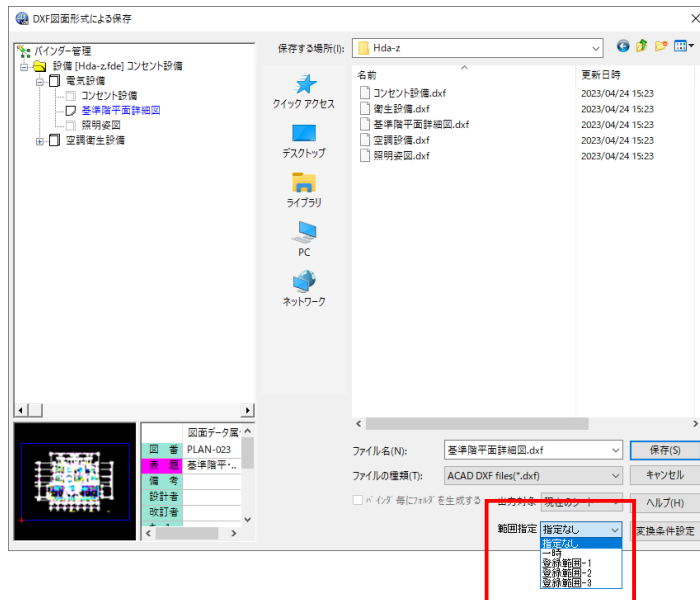
8. DXF・DWG 入力
用紙、縮尺設定

下記設定項目の初期値をチェック「オン」に変更しました。
 ・モデル空間は、ページ設定された用紙を使用する
 ・モデル空間は、ページ設定された縮尺を使用する
 ・レイアウト空間は、ページ設定された用紙・縮尺を使用する
 [ファイル / 外部変換 / 外部入力 / DXF・DWG 入力]



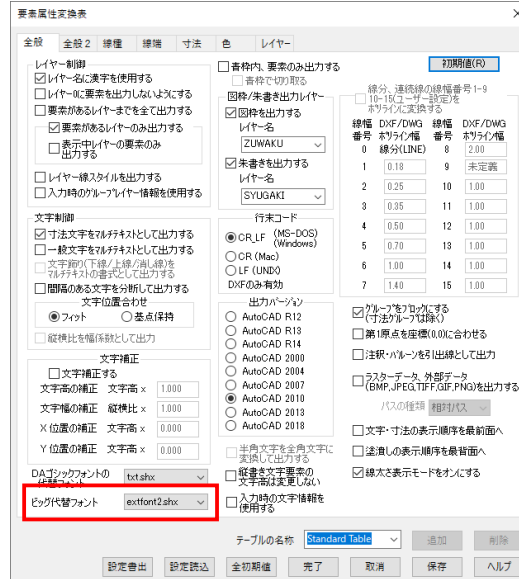
9. DXF・DWG 出力
出力範囲指定

指定した矩形範囲、または出図コマンドで登録した出力範囲設定の領域で、DXF/DWG 出力ができるようになりました。
 ※ [出力対象] が「現在のシート」の時のみ有効です。
 [ファイル / 外部変換 / 外部出力 / DXF・DWG 出力]
 [ファイル / 出図]



10. DXF・DWG 出力
ビッグ代替フォント

設定の初期値を bigfont.shx から「extfont2.shx」に変更しました。
[ファイル / 外部変換 / 外部出力 / DXF・DWG 出力]

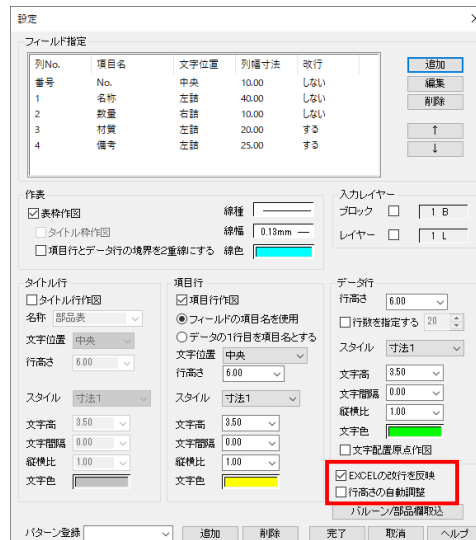


11. DXF・DWG 出力
寸法文字

各寸法の寸法文字の「幅係数」が、正しく反映されるよう改善しました。
[ファイル / 外部変換 / 外部出力 / DXF・DWG 出力]

12. 表作成

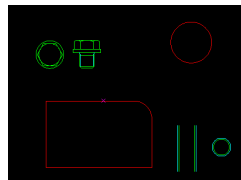
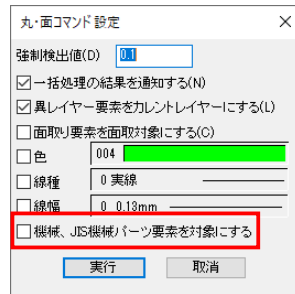
Excel のセル内の改行を反映できるようになりました。
また、文字列が列幅に収まらない場合、行の高さを自動調整できるようになりました。
[作図 / 定型 / 表作成]



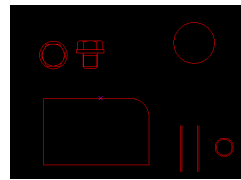
13. 丸面

機械オプション要素 と JIS 機械パーツ要素 を検出対象外にする設定を追加しました。

[作図 / 角処理 / 丸面]



設定オフ (初期値)



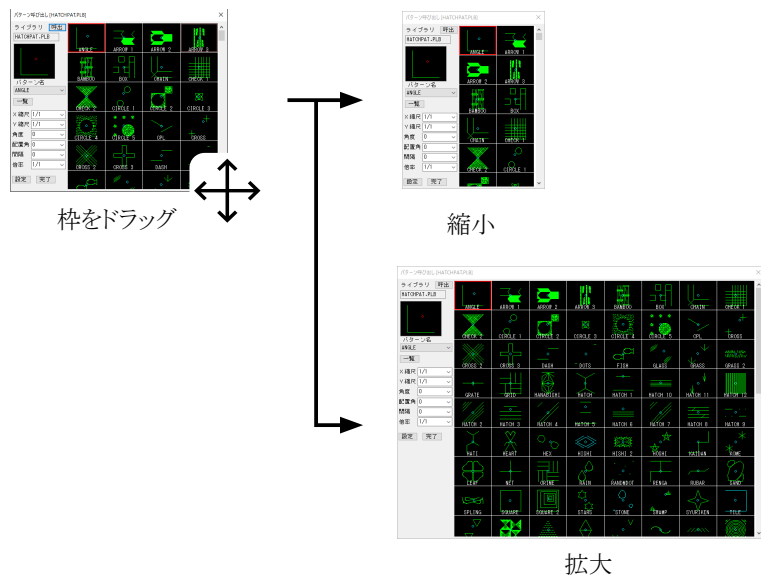
設定オン (従来の動作)

14. パターンハッチング
パターン登録
シンボル配置
シンボル保存

一覧表示のとき、ダイアログの枠のドラッグで、サイズを自由に変更できるようになりました。

[作図 / 面処理 / パターンハッチング] [作図 / 面処理 / パターン登録]

[構成 / シンボル / シンボル配置] [構成 / シンボル / シンボル保存]

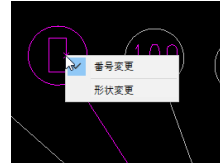


15. バルーン

CSB[変更]モード時の動作を見直し、改善しました。
[作図 / 文字記入 / バルーン]



- ・バルーンの文字、または形状選択中に右クリックメニューを呼び出し、番号変更 / 形状変更の切り替えができるようになりました。

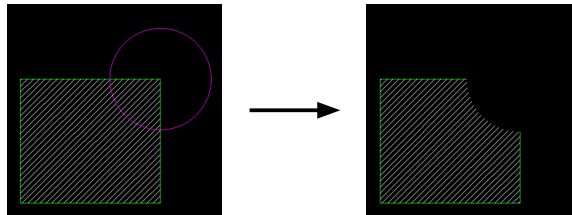
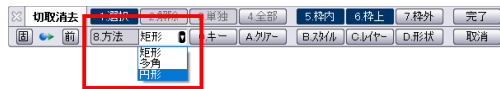


- ・CSB[配置]が「自由」以外(水平・垂直・一括水平・一括垂直)の時、
 - ➡右クリックメニューを表示しないようにしました。
 - ➡配置線の位置指定時に要素検出を行わないようにしました。
- ・CSB[配置]が「一括水平」/「一括垂直」の時、CSBから操作できるボタンを[配置]と[変更]のみにしました。

16. 切取移動、切取消去

枠選択CSB[方法]に「円形」を追加しました。

[編集 / 移動 / 切取移動] [編集 / 消去 / 切取消去]



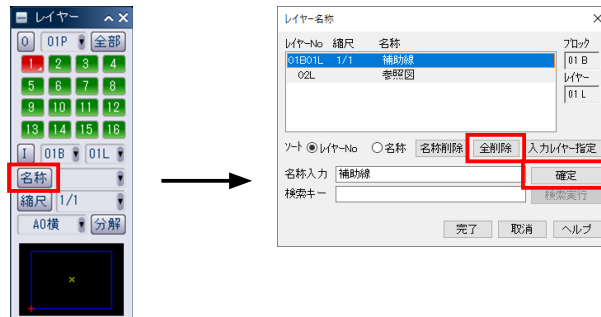
17. レイヤー名称

登録されているレイヤー / ブロック名称を全て削除する [全削除] ボタンを追加しました。

また、名称を新規入力 または変更時、文字を確定させる [確定] ボタンを追加しました。

[編集 / レイヤー操作 / レイヤー名称]

[基本操作 4 / レイヤー / 異縮尺と名称]



18. 部品一覧

CSV または TXT でのリスト出力時、関連付けられたアプリケーションを起動してリストを表示できるようになりました。

[構成 / 部品一覧]



19. 寸法検査表作成
(お試しコマンド)

面取 / 角度寸法に対応しました。
その他、機能強化と改善を行いました。
[ヘルプ / お試しコマンド / 寸法検査表作成]

・ 寸法検査表ダイアログボックス

全てのチェックボックスを一括でオン / オフできるようにしました。
公差等級を変更でき、寸法取り込み後でも変更可能になりました。
寸法に作図する番号の位置を一括で元に戻せるようになりました。



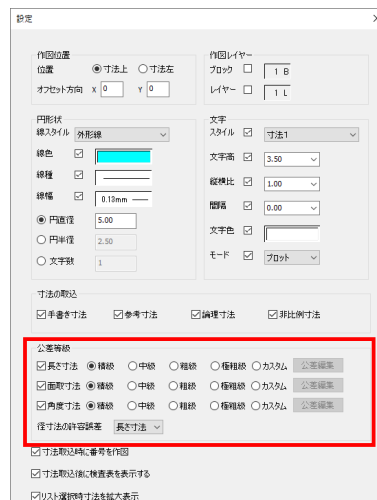
表示する項目を任意に選択できるようになりました。
非表示項目はCSV / クリップ出力の対象外にもなります。

寸法取り込み後に寸法値に変更があった場合、寸法情報を再取得できるようになりました。寸法値の変更を検出すると、メッセージを表示し、該当の寸法をグレーで表示します。



・ 設定ダイアログボックス

各寸法ごとに公差等級の設定と、公差値付与のオン / オフが可能になりました。また、円寸法の直径 / 半径寸法に対して、長さ寸法の公差値を付与するか、面取寸法の公差値を付与するか設定できるようになりました。



※本機能はお試し版になります。その為今後のバージョンでは本機能の互換性がなくなる可能性があります。(本機能以外のデータに関しては影響ありません。)

機械オプション

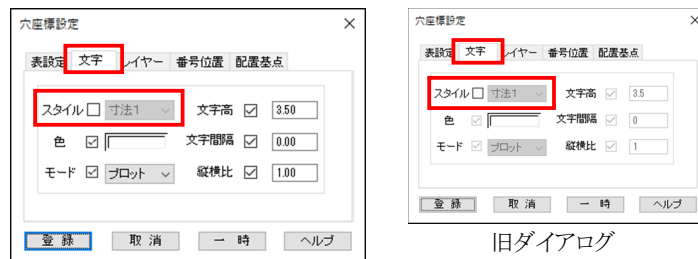
20. 穴座標

タップ座標
深ざぐり座標
皿ざぐり座標

CSB[設定]の「文字」タブで、「スタイル」のチェックをオフにした時に全項目がグレーアウトしチェックがオンでも無効になっていましたが、グレーアウトせず無効にもならないようにしました。

[専用 / 機械定型 3/ 穴座標] [専用 / 機械定型 3/ タップ座標]

[専用 / 機械定型 3/ 深ざぐり座標] [専用 / 機械定型 3/ 皿ざぐり座標]



SOLIDWORKS インターフェース

21. 対応バージョン

SOLIDWORKS2024 に対応しました。

[専用 / SW インターフェース / SW インターフェースオプションの概要]

22. オブジェクトコマンド 非動作

SOLIDWORKS インターフェースの各コマンドで作図した要素でオブジェクトコマンドが動作しないよう変更しました。

[基本操作 2/ オブジェクトコマンド]

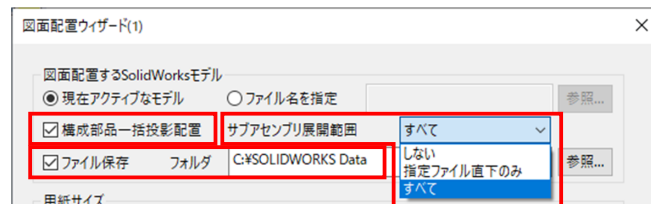
[専用 / SW インターフェース / SW インターフェースオプションの概要]

23. 図面配置

アセンブリデータから一括で組図と各部品図の投影図を作成できるようになりました。

また、「ファイル保存」のチェックオンで、各投影図のファイル保存ができるようになりました。

[専用 / SW インターフェース / 図面配置]



サブアセンブリ展開範囲

しない：第一階層までのサブアセンブリ

指定ファイル直下のみ：第二階層までのサブアセンブリ

すべて：すべてのサブアセンブリ

24. 図面配置 断面図配置

特定の環境で、正しく動作しない場合がある問題を改善しました。

[専用 /SW インターフェース / 図面配置]

[専用 /SW インターフェース / 断面図配置]

25. 投影図編集

従来は各投影図の位置や領域を単独で編集する機能でしたが、全ての投影図が追従した編集ができる機能を追加と、機能拡張をしました。

[専用 /SW インターフェース / 投影図編集]



26. 投影図情報削除

SOLIDWORKS インターフェースの各コマンドで作図した要素に含まれるプロパティ情報を一括で削除する新機能です。

(プロパティ情報：ファイル名、モデル名、縮尺、要素属性など)

[専用 /SW インターフェース / 投影図情報削除]



27. SW スケッチへ

水平・垂直の線分要素だった場合、水平・垂直拘束を付加するようにしました。

[専用 /SW インターフェース /SW スケッチへ]

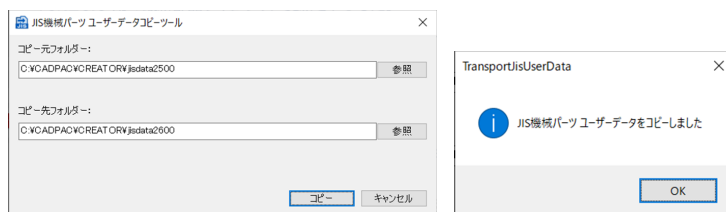
その他のオプション

28. JIS 機械パーツ 部品ライブラリ

Ver.26.0用の最新部品ライブラリに更新されました。部品点数は約75万点です。保守期間中はPCに部品データをインストールせずに、オンラインでもご利用いただけます。

29. JIS 機械パーツ ユーザーデータコピ ーツール

更新インストール時の、ユーザーデータ移行の補助ツールをご用意しました。



30. 配筋オプション 加工図

EXCEL連携時、毎回設定ファイルを指定しなくとも連携できるようになりました。